

ユーザーレポート

User Report

ユーザーレポート

～0の証明～

福岡倉庫株式会社

飲酒運転を完全防止、より厳格、より安全な運行管理を徹底

福岡県の福岡倉庫(株)様は、1948年に設立し、福岡県内に7箇所の物流拠点、県外・海外を含め22拠点をもち、九州最大級の物流企業です。倉庫保管・商品管理をはじめ、輸配送・海外引越など、物流におけるトータルネットワークを提供する、福岡倉庫(株)様は、輸送精度・質はもとより、輸送の安全と乗務員の命を守る顧客満足度の高いサービスを目指しています。

ご利用機器

- ・設置型アルコール検知器 ALC-PRO II
- ・IC運転免許証リーダー
- ・ALC-ZERO II



導入のきっかけ

.....

アルコールインターロックは
荷主への安全・品質の証、
そして信頼への最大のパフォーマンス

福岡倉庫株式会社様で2014年12月、中長距離用としてアルコールインターロックを8台導入。導入の経緯は、荷主先で同業者の飲酒事故がきっかけ、飲酒運転事故を起こせば社会的責任を問われ、荷主からの信用は一気に崩れ去り、社員の生活に大きな影響を及ぼします。

そう考えた時に強い危機感を抱いたと言われます。

自社ごととして捉えるべき、当社からは絶対に飲酒事故を起こさないという強い決意と意識改革の中、飲酒運転を完全に防止できる製品はないかと検討を重ねた結果、「飲んだらエンジンがかからないシステム」-シンプルで確実な仕組みである、ALC-ZERO II 導入を決断。

変えようとする気持ちの同調、改善が安全を強固にしていく

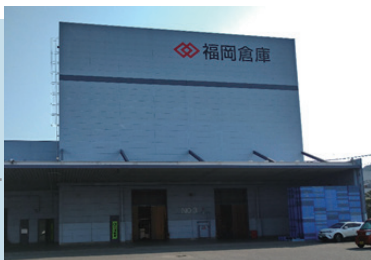
当初はこの導入に乗務員の戸惑いもありましたが、輸送の安全は我々に求められること、競争力の源になる安全、物流品質こそが荷主への最大の信頼、そしてパフォーマンスに繋がっていくというマインドが浸透し、現在ではアルコールインターロックを使うことが平準化され、乗務員の飲酒に対する意識の向上、健康意識も高まっていると言います。また、帰庫後のデータ管理も乗務員自らが出力を行い、パソコン管理をすることで、「飲酒運転をしていません」という証明に、測定日時と顔写真をデジタコ日報と照らし合わせ、安全だけではなく運行管理者とのコミュニケーションツールとしても活用されています。

取材で協力

福岡倉庫株式会社
福岡営業所

所長 照本 啓介 様

〒811-3128
福岡県古賀市玄望園9番地



今では、アルコールインターロックがないと不安という声も上がり、非常（緊急）ボタンの操作も自らの判断で行わず、管理者の許可を得てからと、より一層の意識改革が進んだということです。荷主からは、製品を運ぶために、ここまで徹底した、安全管理を提供してくれてありがたいと、お褒めの言葉もあり、今まで以上に厚い信頼を得たと言います。



今後の展開 日々の小さな努力の継続が革新を生む

.....

照本所長は言います。「今まで変わらず行ってきたことを変えることは一番難しい。しかし、変えて良かったと思えることが必ずあり、それが日常になるように言い続けることが重要だ」と。

今も、福岡倉庫様は、乗務員だけがアルコール測定をするのではなく、すべての従業員が毎朝ALC-PRO IIを使用したアルコール測定を実施、



全社員が飲酒に対する自己管理をしていく意識を高めている、当たり前を継続していくこそが、会社を守り、社員を幸せにしていく、日々の小さな努力の継続が革新を生むと力強く話されます。

取材後記

お酒を検知すると、「エンジンがかからない」というインパクトはかなり大きい、安全は終わりなく継続していくもの、飲酒ZEROの証明は、荷主への最大のパフォーマンスであり安全・品質に勝るものは無し。安全への取組、物流業界の変化に反応し、業界の中での一歩先、半歩先を進み取り組んでいく業界を引っ張っていくんだという気持ちが犇々と伝わる取材でした。

最後に「日々の小さな努力の継続が革新を起こす」素晴らしく心に響く言葉です。